

静電浄油機

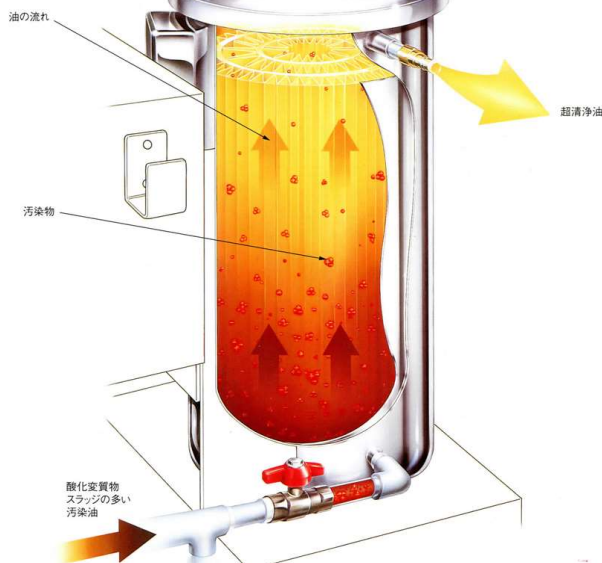
EDC



静電浄油機EDCは機器の腎臓。
油は管理さえすれば
清浄な状態で長期間使用できます。

You Can Stop Wasting Your Oil.

EDCの構造



EDC静電浄油機は【USJ・TDL】
のアトラクションのトラブル予防・
設備保全にも活躍しています。

Demo

Sale

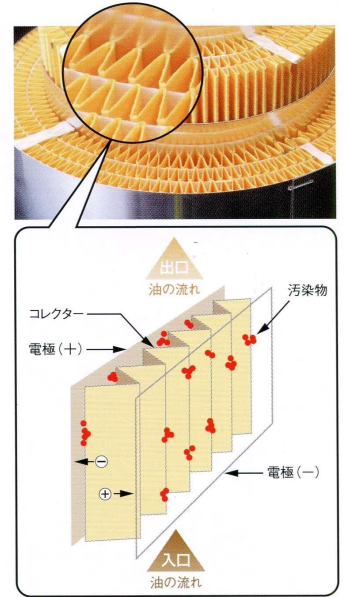
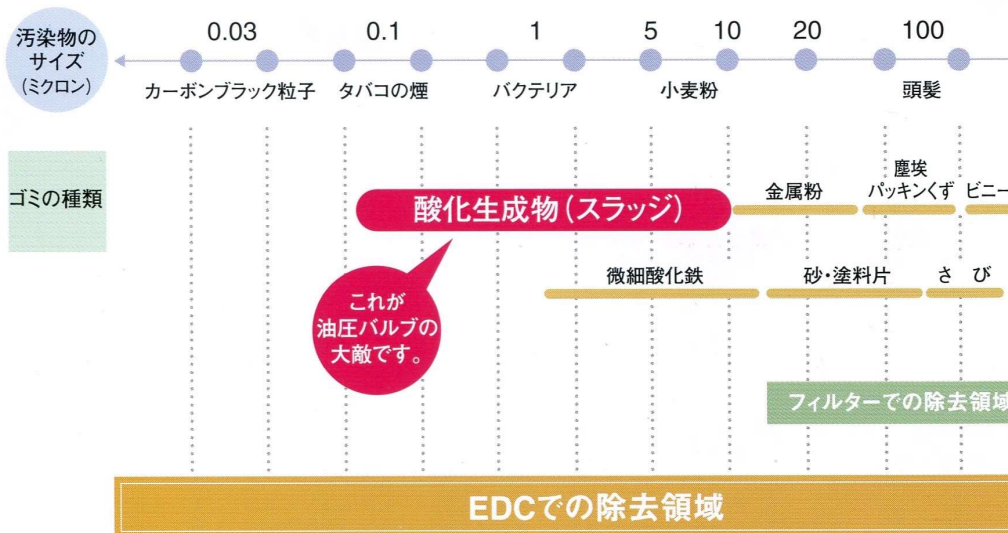
Rental



日本スピードショア株式会社

EDCの原理と性能

EDCは、電気泳動と誘電泳動の現象を同時に起こし、微小なスラッジまでも確実に除去できるシステムです。



フラッシング効果



EDC使用前



EDC使用中

● EDC導入による問題解消とメリット（省エネ効果大）

- タンク内の作動油を新油より清浄な状態に保つ
- ポンプ部と配管内やストレーナーに付着した酸化変質物を確実に洗い流す（負荷減少）
- ポンプの消費電力を削減

設置方法

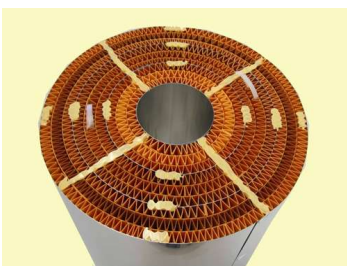


- EDCは機械設備に組込む必要が無く、簡単に設置できます
- 浄油は機械側の油をドレンバルブより吸い出し、給油口等へ浄油後の油を戻すバイパス回路となります

特長

- バイパス式なので設備を止める必要なし
- 圧損がないため設備の稼働に影響なし
- ポンプ流量を少なくできるので配管工事が安価

カートリッジ



浄油前



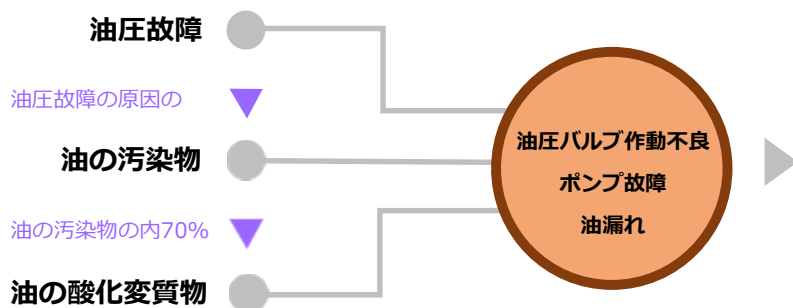
浄油後

特長

- カートリッジ形状がブリーツ状で吸着面積が広いため長寿命（2,000時間以上）
- 生産設備を止めずにメンテナンス可能
- 簡単なメンテナンス（約10分）
- 使用後はカートリッジをバラし、分別ゴミで処分可能

油圧機械が泣いていませんか！？

油圧故障の原因と汚染物



品質不良

生産性低下 (故障停止、チョコ停、暖機運転等)

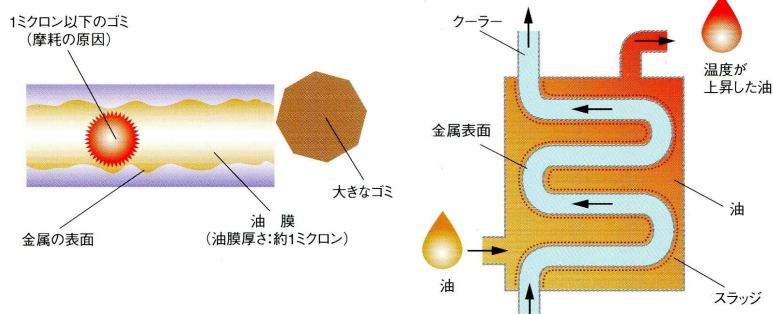
廃油 (環境問題)

保全費用の増大

納期遅れ

エネルギーのロス

油の中のどんなゴミが害になるの？

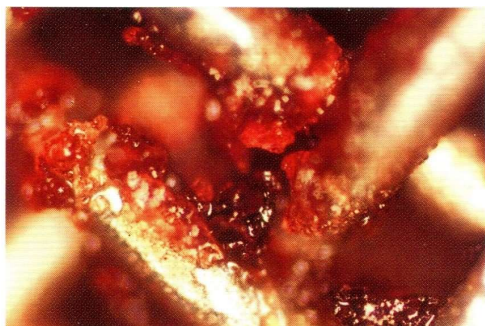


潤滑油膜の厚さは1 μ m程度であり、摩耗に直接影響するゴミは1 μ m以下の微小なものです。このような微小金属摩耗粉は油を酸化させる触媒として作用し、ついには油に溶けないレジン状のスラッジを作ります。このスラッジこそバルブの作動不良、ストレーナーやフィルターの目詰まり、クーラーに付着して熱交換を悪くし、油温を上昇させ、粘度を低下させて潤滑不良や油漏れを引き起こす等のあらゆる潤滑故障の元凶となります。

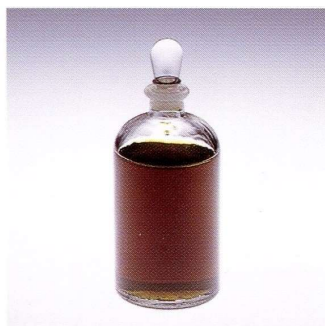
酸化変質物スラッジによる問題点

- ◎ バルブの作動不良
- ◎ ポンプが故障する
- ◎ ストレーナーの目詰まりによる交換
- ◎ 油漏れが発生する
- ◎ ポンプのキャビテーションが多い
- ◎ 油の温度が高くなって困っている
- ◎ 暖機運転のロス

油の中のガン細胞 → スラッジ！



油の酸化変質物スラッジは大変厄介なものです。



処理前



EDC処理後

充実のラインナップで幅広いニーズにお応えします



【仕様】

型 式	重 量 (kg)	消費電力 (W)	ポンプ流量 (ℓ/min)		寸法 (L×W×Hmm)
			50Hz	60Hz	
EDC-R3P	19	200	1.2	1.4	255×360×530
EDC-R10	41	200	2.2	2.7	530×310×700
EDC-R25	65	300	3.7	4.5	535×350×935
EDC-R50N	80	500	6.0	7.2	570×530×1,065
EDC-R100N	110	1,000	12.0	14.4	920×550×1,075

【機種選定の目安】（一般作動油の場合）

項 目	対応油量 (ℓ)			
	粘 度			
型 式	32cst	46cst	56cst	68cst
EDC-R3P	400	280	230	190
EDC-R10	2,500	1,700	1,400	1,100
EDC-R25	6,200	4,300	3,500	2,900
EDC-R50N	12,000	8,300	6,800	5,600
EDC-R100N	24,000	16,600	13,600	11,200

使用条件：エンジンオイルを除く鉱物油
 油 温：60℃ 以下
 水 分：500ppm 以下
 粘 度：200cst 以下
 標準電源：3相200V 50Hz/60Hz

※ 選定は、油の汚れ具合、粘度、工場内の雰囲気によって異なりますが、目安として一覧表を参考にして下さい。
 一覧表は、NAS9級を目標としています。



本社/研修所：〒575-0013 大阪府四条畷市田原台8-2-5 TEL.0743-78-9000/FAX.0743-78-8738

■ 担当店 ■

【西日本営業所】〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-20-12

TEL.06-6485-4007/FAX.06-6485-4008

【中 部 営業所】〒448-0857 愛知県刈谷市大手町2-29

TEL.0566-62-8298/FAX.0566-62-8299

【北関東営業所】〒374-0021 群馬県館林市瀬戸谷町2502-1

TEL.0276-75-4790/FAX.0276-75-4788

【南関東営業所】〒222-0003 神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-9

TEL.045-476-8005/FAX.045-476-8006